



発行

君津中央公民館
君津市久保2-13-2
TEL.0439(50)3980
FAX.0439(54)9888

木の温もりに触れながら

大きく育て

「みふねの里保育園」開園

田園風景の広がる貞元に「みふねの里保育園」が完成し5月11日開園式が行われました。

園の名称には『保育園に通う子ども達が、自然豊かな三舟山のふもとで地域に愛着を持ち、健やかに成長してほしい』という願いが込められています。

木の香りに包まれた新しい園舎は、広い遊戯室や「つじ組・どんぐり組・めだか組・ほたる組・さくら組」などの教室があり、子ども達を迎えています。

併せて「子育て支援センター」が開所し、乳幼児とその保護者の方が利用できます。



園庭であそぶ子ども達



みふねの里保育園が開園しました。約50年の長い歴史があった久保・上湯江・常代の各保育園から園児が集まり142名でのスタートです。「みるもの・知るもの・ふれるもの、みんな大切。全部栄養根っこを丈夫に育てよう。たくさん遊んで大きくなろう、遊びは学びの入口だ」を掲げたくさん遊び、様々な経験をした

地域の方々に親しんでもらえる保育園になりたいと思っています。また地域の子育て支援の拠点となる様、子育て相談等も行い、お役に立てればと思います。

八角形の不思議な形が集まった保育園。そこはたくさん子ども達の可能性が詰まっています。どうぞよろしくお願いいたします。

根っこを丈夫に育てよう
みふねの里保育園

園長 坂本陽子

久保保育園・上湯江保育園・常代保育園

思い出写真展

開催しました



R6年4月6日～14日(交流センターギャラリー) 3月末をもって閉園した3つの保育園に保管されていた、開園当初からの写真を集めた「思い出写真展」。家族の写った懐かしいアルバムをめくりながら思い出話に花が咲いていました。

施設は、室内遊びだけでなく園庭や砂場があり、乳幼児期に体験させたい感触や動きを存分に発揮できる環境を整えています。子育て中の親子が一緒に遊んだり、保護者の方同士が子どもの話や同じ悩みを語り合ったりする、ゆったりとした雰囲気を作りたいと思います。子育て経験豊富な職員と共に自身の保育や子育て経験で感じたこと、知識や情報をお伝えしていきたいです。お子さんと保護者の方が「また行きたい」と感じ安心して過ごせる場となるよう努めていきたいと思っています。



子育て支援センターの先生方

4月30日からみふねの里保育園に併設された子育て支援センターがスタートしました。早速遊びに来てくれた保護者の方は「開園を待っていました!」と喜んでくれ、毎日通う程、お気に入りの場所になってくれています。

安心できる場所に
みふねの里子育て支援センター

白石雅子



公民館の今昔

君津中央公民館は、八幡製鉄(現、日本製鉄)の進出に伴い、発展途上の町に100人以上が集える施設が無いことから、君津町合併10周年記念事業として昭和39年に建設されました。

その後、施設老朽化に伴う建て替えにより、平成21年4月に「生涯学習交流センター・君津中央公民館」が開館し、全市民的な生涯学習の振興を図る役割と地区公民館としての役割を併せ持つ施設となりました。

まちの変化に合わせて、その運営のあり方を変えながら、令和6年度に君津中央公民館は開館60周年の節目を迎えます。

開館60周年記念事業 はじまります

公民館では、開館60周年の節目に、さらなる地域の発展とより地域に役立つ公民館になることを目指し、前回の50周年事業から10年経ったこの10年間のあゆみを振り返り、今後の展望を図るために、記念事業を実施します。

記念事業について

実施にあたり実行委員会を組織して、文化祭と記念誌づくりに取り組みます。

①公民館文化祭



この地域のみんなが暮らしやすく、楽しい地域になることを願う、この地域に暮らす・関わる一人ひとりの力を一緒に高め合っていくことを目指し、みんなの力でつくる年に一度の「お祭り」として文化祭に取り組みます。

文化祭は、11月2日(土)から4日(月)の3日間行う予定で、展示やワークショップ、模擬店の開催のほか、開館60周年を意識した特別企画に取り組みます。

この10年を振り返ると、元号の改正や自然災害、新型コロナウイルスなどこのまちにも大きな影響を与えた出来事がありました。社会の大きな動きも踏まえつつ、公民館サークルや主催事業についてなどの公民館10年のあゆみをまとめます。

また、これからの公民館の充実に向けた座談会の開催とその記録をまとめ、未来につないでいきます。

実行委員会に参加しませんか?

一緒に公民館の開館60周年を盛り上げていただける方、実行委員会に参加しませんか? ご興味のある方は公民館までお問い合わせください。

これまでの記念誌もあるよ

君津中央公民館では、およそ10年をひとつの区切りとして、これまで記念誌を発行してきました。公民館活動は、それぞれの時代の「地域のいま」と向き合ってきています。

例えば、昭和40年代は、社会やまちが急激に変化していく中で、新旧住民が一緒に生活し、ともにまちをつくっていくような様々な取組が進められ、その中心的な施設として公民館活動が盛んに行われてきました。

記念誌を開くとその時のまちのニュースや地域の課題に触れることもできます。各記念誌は、君津中央図書館や公民館内に置いてありますので、ぜひ一読ください。



50周年記念誌

おじゃまします!

拡大版

ふれあいサロン
(大和田・中富北)



守るための内容で、皆さんは真剣に聞いていました。前半の講義が終わると、軽い体操の時間になり、座ったまま行う「仮想ウォーキング」では、「ハイッハイッ」と腕を振りながら声を出し、「あと100m!」「もうちょっとでゴールだよ!」と励ましあい、自然と笑顔があふれる体操になりました。



テントに入ってみました



元気に体操中!



お弁当の準備中

講義の後半では、実際に避難所で使うテントや簡易トイレを広げてみたり、講師のオススメ非常食を手にとってみたりしました。参加者から「今日の講義はためになった」「本物に触れることで災害に備えることの大切さが実感できた」と声があがりました。来月はバスハイクの予定で、今後も楽しいプログラムが続くそうですよ。

箱罾



イノシシ



このまちの 課題 をとらえる

害獣に向き合う

皆さんは野生の動物とばったり出合ったことがあるでしょうか？
「中野踏切の近くでアライグマを見た」「小糸川にイノシシやキョンがいた」「運転中イノシシに突進され車を買い替えた」など地域の方々からたくさんのお話をいただきました。市街地であるこの地区でも、近年確実に野生動物が増えてきているようです。

生息している害獣



玉川さん(小香)

そこで日頃から有害獣対策を行って有害獣に詳しい、小香の玉川さんに君津地区の現状についてお話を伺いました。

①食べる…昔は解体処理の仕方や銃を当てる場所が悪かったこともあり、ジビエ肉は臭いという印象がありました。現在はそれらの



②防護柵…H27・H28年に10km以上設置し、2ヶ月に1回点検・補修に回っていますが、補修してもすぐに破られることが多いです。

③罾(わな)…箱罾とくくり罾が小香・新御堂・郡に約30個設置してあります。毎朝、自分が設置した場所を回り、罾にかかっているのか、壊れていないか点検しています。

現在の対策

30年前頃は猟をするため大多喜まで行っていました。イノシシについては25年程前から徐々に君津へ被害が広がりはじめ、近年急激に数を増しました。

いつ頃から君津へ



技術が改善され、とてもおいしく食べられます。君津市内のジビエ肉専門店などで手軽に入手可能となり、家庭でも食べられるようになりまし。また4月に開催された子ども食堂「すなみダイニング」いこうよう(周南公民館)では、イノシシ肉のカレーライスやポロネーゼが提供され50人を超える親子が堪能しました。このように捕獲した後、ジビエ肉などを有効活用していくことも重要です。

④仲間をふやす…小香・新御堂・郡では現在約10名のメンバーが罾を設置するなどの害獣駆除の活動を行っています。害獣にかける手間や時間が多くなり、日常生活に支障をきたし困っています。その点では害獣がいなくなつて欲しいという思いがあります。



イノシシ肉(肩ロース)

自治会活動で最も大切な役割は「住民相互の信頼と支え合いを醸成すること」だと思います。陽光台は高坂山を宅地開発した住宅地で、先祖伝来の地域集落的な繋がりは薄く、色々な地域から移り住んでいます。その様な中で地域の連携を深くしていくには、まず陽光台で生まれ育った子ども達が愛着を持ち、誇りが持てる地域であることがベースになるのではないかと考えます。

シニア層が楽しく元気に暮らし、社会の中核を担う壮年層が安心して仕事ができる、その姿を見ながら子ども達は育っていきます。「陽光台まつり」で子ども達が目を輝かして走り回っている姿が目に見えます。

自治会活動で最も大切な役割は「住民相互の信頼と支え合いを醸成すること」だと思います。陽光台は高坂山を宅地開発した住宅地で、先祖伝来の地域集落的な繋がりは薄く、色々な地域から移り住んでいます。その様な中で地域の連携を深くしていくには、まず陽光台で生まれ育った子ども達が愛着を持ち、誇りが持てる地域であることがベースになるのではないかと考えます。

シニア層が楽しく元気に暮らし、社会の中核を担う壮年層が安心して仕事ができる、その姿を見ながら子ども達は育っていきます。「陽光台まつり」で子ども達が目を輝かして走り回っている姿が目に見えます。

また登下校中の学童見守り活動で、子ども達がしっかりと挨拶してくれる姿があり、陽光台にも各世代の信頼の輪が築かれていることを実感します。



太郎ちゃんと子ども達

自治会長随想 ③
地域に愛着と誇りを!!
陽光台自治会長 福村 英俊

陽光台まつり
きみびょう音頭を
君高生と
みんなで踊る

このような背景があつて、災害等緊急事態でも助け合いの輪が広がる事を確信する次第です。

今後、私個人としましても修行した腹話術を活かし、森林インストラクターの資格も活用して自然の奥深さや大切さを伝えていければと考えております。

また登下校中の学童見守り活動で、子ども達がしっかりと挨拶してくれる姿があり、陽光台にも各世代の信頼の輪が築かれていることを実感します。



榎(イノキ)の大木

陽光台には「房総往還」が通っており、江戸時代の名残があります。高坂との境にはイノキの大木と、道祖神・地藏尊があり、旅人が、安全を祈ったことでしょう。

君津中央公民館

生涯学習文化課・生涯学習交流センター

令和6年度 職員紹介

地域みなさんの様々な活動のお役に立てるよう
スタッフ一同がんばります！
よろしくお願いいたします。



生涯学習文化課 副課長
生涯学習交流センター・君津
中央公民館副主幹

布施 利之



生涯学習文化課
課長

塚越 直美



生涯学習文化課 主幹
生涯学習交流センター所長
君津中央公民館長

平野 陽一



事業係



(後列左より)柴田、矢島、布施係長、黒澤
(前列左より)小林、安西、竹内社会教育指導員、
鈴木家庭教育指導員

生涯学習交流センター、君津中央公民館の主催
事業／全市の青少年教育、家庭教育、成人教育、
読書推進や地域と学校の連携

文化振興係



(後列左より)榎本社会教育指導員、矢野、曾我
(前列左より)朝倉、當眞主幹、中花係長

埋蔵文化財、歴史資料、芸術文化振興、
市民文化ホール、資料館に関する業務

管理調整係



(左より)平野係長、平野、中村、荒井
(施設の管理運営／生涯学習バスの管理など)



伊藤 三河 上浦 石井 山崎

お庭を拝見！ ミニ盆栽愛好家宅

静かなブーム「ミニ盆栽」の世界

ミニ盆栽は、伝統的な日本の盆栽文化を小さなスペースで楽しめるよう、手のひらに収まるほどのサイズで植栽したものです。

中央公民館に来られる、大和田にお住いのとある愛好家のお庭を見せていただきました。

ミニ盆栽の魅力は、毎日水やりをし、自然の美しさや四季の移



りしながら鑑賞(観)ることを身近で感じられるところ。また挿し木・取り木ほか様々な技術に挑戦するドキドキ感もとても楽しいそうです。昨今とても素敵な趣味ですね！



子どもたちから

子どもたちからは、「自然があつて好き」「生涯学習交流センターは好き」「図書館も近くて便利」「ごみのポイ捨てをよく見る」「自

シニア世代から

シニア世代からは、「公共施設は使いやすい」「小糸川沿いの桜がステキ」「バスの本数が足りない」「自治会活動が縮小して悲し

おしえて！
みなさんの思い

君津地区公民館運営審議会では、今年度、「地域活性に役立つ公民館」をテーマに話し合いを進めています。そこで、君津中央公民館や図書館に来館される方にミニインタビューを実施し、このまちの「いいネ」や「困った」などについての思いをうかがいました。

子育て世代から

子育て世代からは、「公園が充実している」「子育てしやすい」「駐車場がない公園にいきにくい」「自宅から学校まで歩かせるのが不安」「子どもを気軽に預けられる施設が欲しい」という声が寄せられました。

これからも

ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。いただいた声を今後の話し合いや事業展開に生かします。



皆様の声をお待ちしています

編集後記

私事ですが、この4月に君津に引っ越してきました。取材をきっかけに、この地域に住む皆様の活動を知ることができました。普段サークルに参加して公民館に来てくださる方や、自治会の活動に参加される方はとても元気で、私も元気をもらえました。不慣れた取材を温かく迎え入れてくださった皆様に感謝申し上げます。次回も地域密着の話題をお届けします。お楽しみに。(安西)